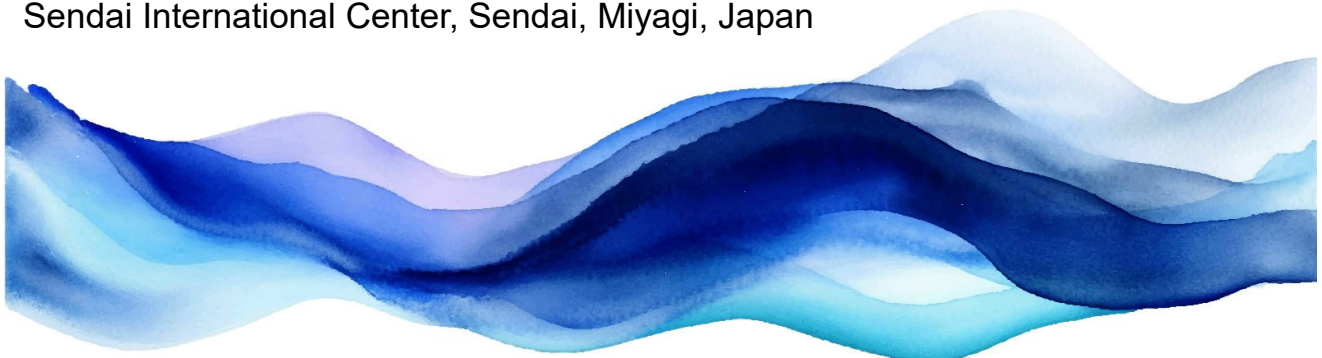


22nd International Conference on
Flow Dynamics

2025

November 10 – 13, 2025

Sendai International Center, Sendai, Miyagi, Japan



Twenty-second International Conference on Flow Dynamics ICFD2025

第22回流動ダイナミクスに関する国際会議（以下 ICFD2025）が2025年11月10日（月）から13日（木）にかけて仙台国際センターにて開催されました。昨年に引き続きハイブリット会議となった今年は、29カ国から868名（うち外国人413名）の研究者・学生が参加し、619件の発表が行われ、成功裏に終了いたしました。



Plenary Lectures

11月10日（月）ICFD2025 共同議長である太田信教授（東北大学流体科学研究所）、Prof. Vincent Fridrici (Centrale Lyon) および東北大学流体科学研究所所長 丸田薫教授からのご挨拶を皮切りに、基調講演がスタート。会場は立ち見となるほど大盛況となり、最先端の研究について活発な意見交換がなされました。講演終了後、それぞれの基調講演者へ記念の盾が贈呈されました。

“Strategies to Model Acoustic Propagation in Inhomogeneous Flows”, Professor Christophe Bailly (Centrale Lyon, France)

“Using Chemistry to Measure Flow Rate in Geothermal Wells”, Professor Roland N. Horne (Stanford University, USA)

“Flame Surface Models for Large Eddy Simulations of Turbulent Combustion: Achievements, Challenges and Perspectives”, Dr. Denis Veynante (Université Paris-Saclay, CNRS, CentraleSupélec, France)

“Reduced-Order High Fidelity Simulations of Reacting Flows Using Low Dimensional Manifolds and Machine Learning”, Professor Hong G. Im (King Abdullah University of Science and Technology, Saudi Arabia)

Liaison Office Session & Core-to-Core Session



11月13日（木）“International Strategic Pathway as the University for International Research Excellence”をテーマに、本学 CGO（包括的国際化担当役員）Marie-Pierre FAVRE 氏、国際卓越教員 Mani Sarathy 教授および Yinguang Ju 教授、大林茂教授、陳怡静特任准教授らが登壇し、東北大学の国際化戦略や国際卓越教員としての目標、研究等が紹介されました。セッション後には、海外リエゾンオフィス関係者と意見交換を行い、有意義な情報共有の場となりました。

Women in Flow Dynamics – Fostering Inclusion in the Flow Dynamics Community

11月11日（火）「つながりを深め、アイデアを分かち合い、互いに刺激し合う」ことを目的に“Women in Flow Dynamics”が初めて企画され、Flow Dynamics に関わる女性であればどなたでも参加可能な交流企画には、50名以上が参加し、終始和やかな雰囲気の中で活発な意見交換が行われました。



ロゴの制定

ICFD が今後とも国際的な交流と研究の発展に貢献し続けることを象徴し、そして今後も広く親しまれる存在であり続けることを願って、今回ロゴを制定いたしました。カンファレンスのアイデンティティとしての「流れ」、研究が社会を未来へ導く「希望」、そして学術を象徴する「筆」の三つの要素で構成されています。詳細は、流体科学研究所ホームページをご参照ください。 <https://www.ifs.tohoku.ac.jp/icfd/>

国際若手研究者育成の場

本 ICFD は大学院生の教育にも力をいれており、学生がオーガナイザーを務め自主的に企画運営をするという特徴を持つ学生セッションは、本会議の中でも重要な位置づけを担っております。今回、博士課程の田村 玄汰氏、谷 知輝氏、平野 太一氏、柳沢 啓斗氏の 4 名の学生がオーガナイザーを務め、論文のフォーマットチェックからプログラムの作成、当日の会議運営、懇親会「学生の、学生による、学生のための Friendship Night」の企画運営等を行いました。また、学生セッションで発表した学生 63 名に対して教員および参加学生が審査を行い、以下 3 名の学生が Best Presentation Award for Students Session を受賞しました。11 月 12 日(水)に開催された懇親会において表彰式を行い、太田 信共同議長および Vincent Fridrici 共同議長より賞状の授与がありました。受賞者は以下のとおりです。

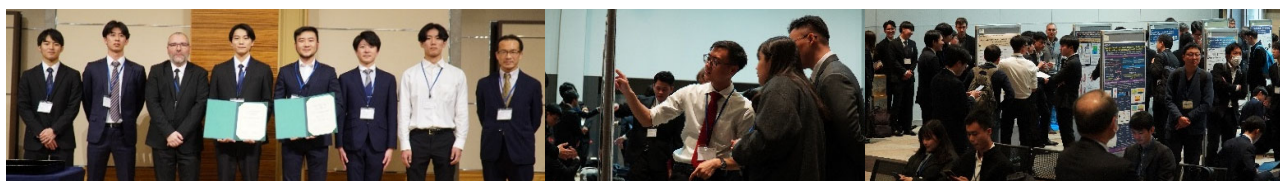


Best Presentation Award for Students Session

OS27-26: Kazuki Naganuma (National Institute of Technology, Hachinohe College, Japan)

OS27-47: Shukai Cheng (Tohoku University, Japan)

OS27-60: Shuto Kurosawa (Tohoku University, Japan)



(写真左から：谷氏、平野氏、Prof.V. Fridrici, Mr. S. Kurosawa, Mr. S. Cheng, 谷氏、田村氏、太田教授)

Best Presentation Award for Young Researcher

優れた発表を行った若手研究者を顕彰するため、35 歳以下かつ Oral Presentation を行った 226 名の応募者の中から、特に優れた発表を行った 17 名の研究者が選考され The 22nd International Conference on Flow Dynamics Best Presentation Award for Young Researcher が贈られました。受賞者は以下のとおりです。

GS1-12: Taisei Hara (Kanazawa University, Japan)

OS2-36: Hinata Moriyama (Tohoku University, Japan)

OS2-57: Kenta Tamaoki (Tohoku University, Japan)

OS3-4: Akira Ishimaru (SCREEN Holdings Co., Ltd, Japan)

OS4-7: Hinata Kariya (Tohoku University, Japan)

OS5-2: Ryo Igari (Tohoku University, Japan)

OS6-5: Jinyoung Kim (Seoul National University, Republic of Korea)

OS7-12: Kai Fukami (Tohoku University, Japan)

OS8-12: Jiun-Shian Lee (Tohoku University, Japan)

OS9-3: Vedhino Bima Aryaputra Ahnaf (Tohoku University, Japan)

OS9-7: Veronika Pálos (Simmelweis University, Hungary)

OS11-2: Rikuto Ishida (Kyoto Institute of Technology, Japan)

OS12-23: Chen-Kuang Wang (National Chung Hsing University, Taiwan)

OS15-7: Golsa Tabe Jamaat (Tohoku University, Japan)

OS16-3: Daisuke Nishiyama (Tohoku University, Japan)

OS19-5: Daisuke Tsuneoka (Tohoku University, Japan)

OS21-4: Liping Gong (University of Wollongong, Australia)



(写真左：丸田理事, Prof. E. Mastorakos)

(写真右：丸田理事, 森西教授)

第 31 回流体科学研究賞受賞記念講演会

一般社団法人機器研究会では、流体科学に関する研究上の業績で、独創的に富み流体科学の発展に多大なる貢献をしたと認められる優秀な研究者に、その業績を称え表彰を行っております。今年度は、University of Cambridge Prof. Epaminondas Mastorakos および名古屋工業大学 森西洋平教授の 2 名が受賞し、11 月 12 日(水)に仙台国際センターにて第 31 回流体科学研究賞受賞記念講演会が行われました。同日、ホテルメトロポリタン仙台にて開催された懇親会において表彰式を行い、丸田薫理事長より賞状と賞金、盾の授与がありました。

The 23rd International Conference on Flow Dynamics (ICFD2026)

「第 23 回流動ダイナミクスに関する国際会議」を下記の通り開催いたします。みなさまのお越しお待ちしております。

日程：2026 年 11 月 9 日(月)～11 月 12 日(木) 開催場所：仙台国際センター

Email: icfd2026-ifs+grp.tohoku.ac.jp (“+” は “@” に変換してください)

第1回 ICFD2004 2004年11月11～12日	参加者数：370名（67） 会場：仙台国際センター	General 279（57） Student 91（10） 発表件数：112件（25） 議長：圓山 重直 教授 / 実行委員長：佐宗 章弘 教授
第2回 ICFD2005 2005年11月16～18日	参加者数：563名（100） 会場：仙台国際センター	General 311（81） Student 252（19） 発表件数：299件（86） 議長：圓山 重直 教授 / 実行委員長：高木 敏行 教授
第3回 ICFD2006 2006年11月7～9日	参加者数：229名（60） 会場：ホテル松島大観荘	General 168（35） Student 61（25） 発表件数：129件（51） 議長：圓山 重直 教授 / 実行委員長：中橋 和博 教授
第4回 ICFD2007 2007年9月26～28日	参加者数：412名（150） 会場：仙台国際センター	General 232（86） Student 180（64） 発表件数：303件（138） 議長：圓山 重直 教授 / 実行委員長：徳山 道夫 教授
第5回 ICFD2008 2008年11月17～19日	参加者数：346名（108） 会場：仙台エクセルホテル東急	General 147（57） Student 199（51） 発表件数：154件（86） 議長：圓山 重直 教授 / 実行委員長：高木 敏行 教授
第6回 ICFD2009 2009年11月4～6日	参加者数：448名（157） 会場：ホテルメトロポリタン仙台	General 213（74） Student 235（83） 発表件数：319件（145） 議長：圓山 重直 教授 / 実行委員長：水崎 純一郎 教授
第7回 ICFD2010 2010年11月1～3日	参加者数：749名（241） 会場：仙台国際センター	General 404（126） Student 345（115） 発表件数：412件（180） 総議長：圓山 重直 教授 / 議長：中野 政身 教授
第8回 ICFD2011 2011年11月9～11日	参加者数：649名（206） 会場：ホテルメトロポリタン仙台	General 321（104） Student 328（102） 発表件数：417件（156） 総議長：圓山 重直 教授 / 議長：浅井 圭介 教授
第9回 ICFD2012 2012年9月19～21日	参加者数：578名（190） 会場：ホテルメトロポリタン仙台	General 290（120） Student 288（70） 発表件数：435件（186） 議長：圓山 重直 教授
第10回 ICFD2013 2013年11月25～27日	参加者数：774名（192） 会場：仙台国際センター	General 453（111） Student 321（81） 発表件数：476件（145） 共同議長：高木 敏行 教授・Prof. Jean-Yves Cavaille
第11回 ICFD2014 2014年10月8～10日	参加者数：583名（183） 会場：仙台国際センター	General 280（108） Student 303（75） 発表件数：390件（142） 共同議長：小林 秀昭 教授・Prof. Fredrik Lundell
第12回 ICFD2015 2015年10月27～29日	参加者数：711名（243） 会場：仙台国際センター	General 337（129） Student 374（114） 発表件数：533件（215） 共同議長：小原 拓 教授・Prof. XinGang Liang
第13回 ICFD2016 2016年10月10～12日	参加者数：584名（202） 会場：仙台国際センター	General 296（113） Student 288（89） 発表件数：430件（215） 共同議長：丸田 薫 教授・Prof. Nam Il Kim
第14回 ICFD2017 2017年11月1～3日	参加者数：685名（258） 会場：仙台国際センター	General 373（149） Student 312（109） 発表件数：483件（201） 共同議長：伊藤 高敏 教授・Dr. Julien Fontaine
第15回 ICFD2018 2018年11月7～9日	参加者数：727名（315） 会場：仙台国際センター	General 389（181） Student 338（134） 発表件数：557件（263） 共同議長：服部 裕司 教授・Prof. Yiguang Ju
第16回 ICFD2019 2019年11月6～8日	参加者数：667名（259） 会場：仙台国際センター	General 318（135） Student 349（124） 発表件数：504件（212） 共同議長：佐藤 岳彦 教授・Prof. Jong-Shinn Wu
第17回 ICFD2020 2020年10月28～30日	参加者数：494名（175） 開催スタイル：Webinar	General 249（94） Student 245（81） 発表件数：361件（121） 共同議長：石本 淳 教授・Prof. Jong-Shinn Wu
第18回 ICFD2021 2021年10月27～29日	参加者数：549名（192） 開催スタイル：Webinar	General 263（111） Student 286（81） 発表件数：405件（153） 共同議長：大林 茂 教授・Prof. Hong G. Im
第19回 ICFD2022 2022年11月9～11日	参加者数：610名（253） 会場：仙台国際センター/ハイブリッド	General 291（121） Student 319（132） 発表件数：417件（194） 共同議長：永井 大樹 教授・Prof. Chih-Yung Huang
第20回 ICFD2023 2023年11月6～8日	参加者数：698名（319） 会場：仙台国際センター/ハイブリッド	General 325（167） Student 373（152） 発表件数：469件（241） 共同議長：徳増 崇 教授・Prof. Jeongmin Ahn
第21回 ICFD2024 2024年11月18～20日	参加者数：758名（340） 会場：仙台国際センター/ハイブリッド	General 343（162） Student 415（178） 発表件数：540件（266） 共同議長：内一 哲哉教授・Prof. Gael Sebald
第22回 ICFD2025 2025年11月10～13日	参加者数：868名（413） 発表件数：619件（320） 会場：仙台国際センター/ハイブリッド 共同議長：太田 信教授・Prof. Vincent Fridrici	

※（ ）うち外国人数

